

議会報

飯 南

い
い
な
ん

第70号

令和4年7月20日

- 02 6月議会報告
- 03 可決した主な議案
令和4年度各会計補正予算
- 04 一般質問
- 09 討論
採決の結果
- 10 常任委員会報告
全員協議会の議題／議会活動報告
- 12 明日を拓く



6月定例会を終えて

6月7日から17日までの11日間で開催

昨年7月、本町はこれまで経験したことのないような記録的大雨に見舞われ、道路や河川をはじめ、農地や農業用施設に甚大な被害を受けた。

町は、農地と農業用施設の復旧を最優先に進め、今年度の作付けには何とか間に合わせたものの、道路や河川は現在も懸命に復旧工事を進めている現状だ。

気候変動により一層の激甚化が予想される自然災害。その備えはますます重要な事項となっておりことから、小・中学校防災機能強化事業（2800万円）を導入し、災害時避難場所としての環境整備事業を盛り込んだ総額7912万円の一般会計補正予算（第2号）を可決した。今後も更なる拡充に期待する。

その他、国民健康保険の保険料賦課限度額を見直す改正条例を可決した。

可決した主な議案

条例関係

飯南町地域の振興を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定

承認

飯南町税条例等の一部を改正する条例の制定など5件

予算

令和4年度飯南町一般会計補正予算（第2号）など6件

諸議案

土地改良事業計画、財産（11t級除雪ドーザ）の取得など6件

報告

令和3年度飯南町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告など4件

〔令和4年度 各会計補正予算〕

定住促進対策事業550万円の増額、乳用牛生産振興事業2000万円の増額、町内小中学校防災機能強化事業（体育館LED照明整備）及び体育施設維持修繕工事（志々トレーニングセンターLED照明整備）3336万円の増額など

一般会計 1億145万円 増額

会 計 名		補正予算額	予算総額
一 般 会 計		1億145万円	84億3725万円
特別会計	国民健康保険事業	-235万円	6億5551万円
	介護保険サービス事業	82万円	3317万円
病院事業会計		3909万円	12億8634万円
簡易水道事業会計		383万円	3億7115万円
下水道事業会計		511万円	5億461万円





オンライン診療への 取り組みを

安部 丘 議員

新型コロナウイルス感染症拡大に対応するため厚生労働省は、令和2年4月からオンライン診療の一時的な規制緩和に踏み切り、今年度から恒久化するよう制度を改正した。

県内46病院の内23病院がオンライン診療を提供する病院として届け出をしているが、飯南病院は含まれていない。

病状が安定している患者にとつて、オンライン診療は大きなメリットがある。仕事の都合で病院に向く時間が取りにくい若者や、バスを何度か乗り換え、大変な時間と労力をかけて通院している高齢者にとつて、通院する回数を減らすことは、受診する負担の軽減に直結する。

本町もオンライン診療を提供してはどうか。

Q オンライン診療の提供を

一般 質問

令和4年 6月定例会

若者を定着させる ための支援を

内藤 眞一 議員



Q U・Iターナー者が町を離れるのはなぜ

本町は、令和3年度の「住みたい田舎ベストランキング」において、若者世代が住みたい田舎部門で第1位、子育て世代が住みたい田舎部門で第1位など、上位にランキングされた。

多くの人が本町に移住・定住している一方、本町から離れるケースも相当見受けられる。離町の理由は何か。



A 能力・資格を生かす職種が少ない

町長塚原隆昭

「住みたい田舎ベストランキング」では、常に上位にランキングされている。本町の住みやすさのポイントは3点。

①夏は比較的涼しく、冬はスキーが楽しめる高原のまち

②出産から育児や教育関連まで、絶え間ない子育て支援

③セミオーダー式の賃貸住宅など多様な住宅支援

本町におけるU・Iターナー者の定着率は約60%であり、一定の定着率は確保している。

島根県の意識調査では、他地域へ移りたい理由として、生活の利便性向上と仕事の都合の2つの回答が多かった。

本町においては、自分が持っている能力や資格を生かせる業種や職種が少ないという理由が多い。



A 可能な範囲で対応

町長塚原隆昭

飯南病院では、感染対策の一つとして定期受診をされている患者で、電話による診察が可能な方には、来院しなくても電話応対での診療や薬の処方を行っており、令和2年度から3年度で、461件280人が薬の処方を受けられた。

医師の体制等から、オンライン診療専用枠を設けるなど、恒常的な運用はできないことから公表は控えている。

当面は可能な範囲で対応し、今年度中に策定する病院経営改革プランで検討していく。

Q 定住には収入の確保を

町長塚原隆昭

最終的に本町を離れた理由は、収入の問題だと思う。例えば、リースハウスによる新規就農は、3年間は月15万円の補助があるものの、その後に農業だけで15万円の収入を得ることは大変だ。

町は、より多くの応援をしないと定住の増加は困難だ。

また、収入確保には販売対策が不可欠だ。町内農産物の販売に力を入れるプロジェクトチームを設置する考えはないか。



ぼたんの郷

A 「新規就農支援チーム」で支援を

県の調査でも収入の問題は上位に挙がっているし、本町でも課題の一つであると感じている。

本町では、県・J・A・町などで構成した「新規就農支援チーム」が、月1回の会合を開催しながら、農業者として自立できるよう助言・指導を行っている。

今後も、この支援チームを中心として、他の関係機関や庁舎内の各部署との連携を図りながら、収入の確保による定着が図れるような指導・支援を継続したい。

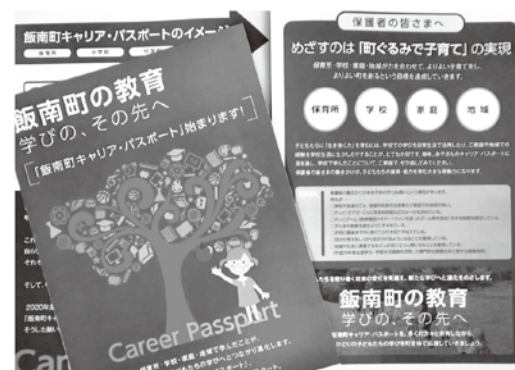
Q 学力調査結果評価と改善は

教育長大谷哲也

県は、2月19日に学力・学習状況調査の結果を公表した。

学力調査では全学年で全国平均を下回り、学習状況調査からは「家庭での学習時間が減少傾向にある」と課題を挙げている。

本町の評価と改善に向けた取り組みを問う。



飯南町キャリアパスポート

小学5・6年生は国語と算数。中学1・2年生は国語、数学、英語で調査が実施され、本町は全国平均を下回る結果となった。

対策として、児童生徒それぞれが「もう少しずつ頑張れる」という指導体制が必要で、派遣指導主事と連携し進める。中学生の学習支援館の利用促進も必要。

本町の児童生徒は「話し合いの中で自分の考えを深め、ほかの学習に生かしている」という自己評価が非常に高い。ICTの活用で児童生徒の考えが瞬時に共有でき、意見交換やまとめ時間を十分にとれた結果と分析している。

ICTを活用した授業、小さな町だからできるきめ細かなサポート。こうした本町の強みを生かしていく。

一般 質問

令和4年 6月定例会

農・畜産事業へのビジョンは

熊谷 兼樹 議員



確定した制度では、ソフト、ハード二つの事業が選択でき、併用も可能で、ソフト事業は全額国費で賄われるが、ハード事業は自己資金が4分の1必要になった。町としては、国事業で対応できないリースハウス整備事業は継続する。

A リースハウス整備事業は継続

町長塚原隆昭

Q 新規就農者支援制度変更についてどう臨む

昨年12月の一般質問で取り上げた案件だが、その後、どのような制度に変更され、本町はどのように取り組むのか。

A 国の歩調に合わせ普及

町長塚原隆昭

環境問題、SDGsへの対応、安心安全な食志向等を踏まえると、農業・化学肥料の低減は避けて通れない。国と歩調を合わせ有機農業の普及に取り組む。現時点では、エコロジーム生産が、最も安心して取り組める環境負荷の少ない農業だ。当面、生産を推奨し規模拡大を図る。



WCSの給餌の様子

A 生産体制と専用機導入の初期投資

町長塚原隆昭

畜産農家へ安定供給するための生産体制(コントラ

Q 畜産廃棄物を処理から活用へ

畜産経営全体の問題として畜産廃棄物(家畜の糞尿)の処理がある。バイオガス発電に取組み、畜産廃棄物の活用を考えてはどうか。

A 堆肥化して利用

町長塚原隆昭

畜産廃棄物は、町内に堆肥需要があることから堆肥化して利用を推進する。バイオガス発電については、町内の家畜糞尿量が少ないことから難しい。

その他「和子牛価格暴落への対応」と「鳥獣被害対策」について質問がありました。

子どもの食の安全を守る農業

戸谷 ひとみ 議員



Q 保育所を完全給食に

主食のご飯を家庭から持参する3歳児以上も完全給食にし、大切な子どもたちに炊き立てホカホカの飯南米を食べて欲しい。小さい頃からおいしい飯南米に親しみ、生産する農家や米作りを身近に感じる取組みにすることで、食育・農育にも繋がる。町長の考えは。



A 保護者の意見を聞き検討
町長塚原隆昭
保護者からの要望がないためご飯の持参が継続しているのが実態。稲作農家が多い本町では、米作りに対する興味関心を育てることや家庭での親子のふれあいに繋がるという考えもある。保育所で温かいご飯を食べるメリットはあると思うし、近隣市町では保護者の負担軽減の観点から完全給食で保育料を無償化しているところもある。保護者の意見を聞きながら検討する。

Q オーガニック給食と有機農業への取り組みは

化学肥料や農薬に頼らないオーガニック給食のニーズが全国的に高まっている。給食を変えたことで子どもたちが健康になったというデータもある。オーガニック給食導入をどう考えるか。また、有機農業を推進する国の方針に沿い、本町でも有機農業に取り組み、できた農産物を保育所と学校給食で使うことも考えられる。できるだけ有機栽培に近づけるため、町内の農家に協力を求め、町も一緒に

A 少しずつ前に進めたい

町長塚原隆昭

部分的な導入であれば可能だが、本格的なオーガニック給食にするだけの生産体制がないのが現状だ。農業経営が成り立つためには、有機農業に関する技術革新や環境整備が必要。本町の自然豊かな環境の中

適した技術の検証と生産技術の向上を目指す気持ちがあるか。家庭の金銭的負担を変えず「子どもたちの食の安全に配慮したものに変えていく」オーガニック給食に取り組みうとしている「こうした姿勢を見せることで、子育て世代に飯南町で暮らして良かったと感じてもらえ、飯南町で子育てしたい」と思って移住してくる人も増えると思うがどうか。

で有機農業は大事な要素だ。農業振興計画の中に盛り込まれていないが、少しずつ前に進めていきたい。このことで定住者が増えることも大事だと思う。

一般質問

令和4年6月定例会

合併後の成果を問う

安部 誠也 議員



Q里山フィールド
ミュージアム構想
の成果は

新町建設計画の重点プロ
ジェクト「里山フィールド
ミュージアム構想」の成果を
問う。

A象徴的な3つの
事業成果が

町長塚原隆昭

一つは「森林セラピー」。全
国でも2例しかない二つ星



の認定を受けており、本町
の冠事業として取り組んで
いる。

二つ目は飯南高校の魅力
化事業。総合学習の中で教
育の核である「生命地域学」
ということで取り組んでい
る。

三つ目は、移住した多く
が定住を続けていること
だ。

Q企業版ふるさと
納税の現状は

企業版ふるさと納税は、
町が地域再生計画を作成
し国の認定を受け、企業へ
アプローチを行い、寄付を
受ける流れだが、企業との
マッチングサービスを行う
「river(リバー)」の利用
状況はどうか。

A多くの寄付を期待

町長塚原隆昭

申請中の「地域再生計
画」は、7月上旬に認可の予

定と聞いている。

river(リバー)を通じ
て事業者からの問い合わせ
や寄付の打診もあり、丁寧な
対応を心がけ、より多くの寄
付を受けるよう取り組む。



Q公募による
指定管理を

指定管理者制度は、「公の
施設」を民間等の団体に管
理委託し、サービスの向上
やコストの削減を図る制度
である。公募による選定と
公募でない選定もあるが、
指定管理料は増加し、公募
も応募者がいないと聞く。

指定管理の定めを明確に
するためには公募が必要で
あり、一般団体でも見積り
が出来るよう算定方法の明
確化や募集要項を再考し、
幅広く公募すべきだ。

観光宿泊施設は、地域づ
くりの役割を担う面もある
ため、地域住民参画による
検討会議を設けるべきだ。

A工夫も含め改善

町長塚原隆昭

40の指定管理施設中、32
施設は公募によらないもの
だ。

宿泊観光施設は「公募に
よる」指定管理で、5年ごと
の更新だが、利用者の減、維
持・修繕費の増加など経営
努力にも限界があり、更新
時に指定管理料の増額要求
がでる。

指定管理は「公募による」
が原則だ。算定方法の明確
化や、募集要項の情報量の
改善、ホームページ・フェイ
スブック・インスタグラム等
のツールを利用し、幅広く
公募に努める。

観光宿泊施設の今後につ
いては、地域住民の意見を
集約して具体的な案を作成
し、令和5年度には方針を
説明したい。

討論

承認第2号 専決処分の承認を求めるこ
とについて

(飯南町国民健康保険条例の一部を改正
する条例の制定について)

反対討論 伊藤 好晴 議員

保険料の賦課限度額を引き上げ、低所得
層の保険料を軽減する改正で、中間所得層
へ配慮したとのこと。

これは問題点の先送りであり、納得でき
ない。国庫負担率をもとの水準に戻すのが
本来の姿だ。国の助成金を50%に復活する
よう強く求めることを要求する。

国民健康保険は、住民のいのちと健康を
守る社会保障制度で、地方自治体が独自に
公費を繰り入れ、住民負担の軽減に向け努
力するのは、制度の本旨にかなったもの。

国の負担が増額されるまでは、一般会計
から繰り入れて対応すべき。

賛成討論 熊谷 兼樹 議員

中間所得層に対する負担軽減を図ると
いう意味で賛成する。

一度に変えることが難しい制度。課題を
少しでも解決するための改正を繰り返し、
バランスの取れた制度にしていく途中段
階にある、と私は理解をしている。

採決の結果

[6月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	伊藤好晴	熊谷兼樹	内藤眞一	高橋英次	安部誠也	景山登美男	安部 丘	平石玲児	戸谷ひとみ
飯南町税条例等の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険条例の一部改正	承認	●	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町一般会計補正予算(第12号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町下水道事業会計補正予算(第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町一般会計補正予算(第1号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町地域の振興を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土地改良事業計画	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(乗用ステレオスプレーヤ)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(消防 軽積載車)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(11 t 級除雪ドーザ)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(5 t 級除雪ドーザ)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(飯南町立頓原小学校スクールバス)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対



教育経済 常任委員会

委員長：熊谷兼樹 副委員長：安部誠也
委員：伊藤好晴 内藤眞一 高橋英次

常任委員会報告

総務厚生 常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：平石玲児
委員：早樋徹雄 安部 丘 戸谷ひとみ



令和4年度 飯南町一般会計補正予算(第2号)

小学校共通臨時管理費 80万円



頓原小学校の空調を視察

頓原小学校保健室のエアコン取替え経費。

委員会による学校視察により発覚した問題で、保健室という児童にとって安心安全のよりどころになる場所であることから、早急な対応を求めた案件である。問題の重大性から、学校現場と教育委員会とのやりとりについて詳細説明を求めた。

学校現場からの修繕を要する箇所の情報を教育委員会が十分に把握していなかったことが反省点である。

教育委員会は今後、学校との意思疎通を図り、状況の把握に努め、児童の安心安全の観点から優先順位を決め、予算確保に努めるとの意思が示された。

小学校防災機能強化事業 1415万円
中学校防災機能強化事業 1385万円
体育施設維持修繕工事 536万円

防災機能強化事業の中の学校施設環境改善交付金を活用し、小中学校の体育館の照明をLED化する。志々トレーニングセンター(志々小体育館)については過疎債で対応。

多発する豪雨災害や大規模地震の際、児童生徒や住民の避難場所となる体育館は、照明だけでなく避難時に必要となる物資、空調設備等を広範に整備することを求めた。

今回は、交付金の性質上照明の更新を行うが、防災に関係する部署と補助事業等情報共有し、充実に努めるとの回答があった。

畜産臨時管理費 119万円

哺育牛舎に配備している2tダンプトラックのエンジンコンピュータ等の交換費用。

導入後17年経過していることから更新した方が良いのではとの意見があった。新車にした場合、納車に一年以上かかることから、修理することにしたとの回答があった。

令和3年度 飯南町一般会計補正予算(第12号)

【歳入】
地方交付税 特別交付税 2億2680万円

激甚災害により40.1%の増となった。



豪雨で被災した板屋農道

令和4年度 飯南町一般会計補正予算(第1号)

【歳出】
住民税非課税世帯等臨時特別支援事業 1607万円

低所得の世帯に生活支援を行うための特別給付金。(令和3年度の受給者は除く)

子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯)給付事業 314万円

低所得の子育て世帯に生活支援を行うための特別給付金。

子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯)給付事業 310万円

低所得のひとり親世帯に生活支援を行うための特別給付金。

令和4年度 飯南町一般会計補正予算(第2号)

【歳出】
その他町有財産臨時管理費 400万円

消防第4分団(野営・下来島)が使用していた旧消防車庫を解体する。

定住促進対策事業 550万円

住宅新築支援事業費補助金等の申請が増える見込みのため増額する。

地域・人づくり事業 310万円

宝くじ助成事業の採択による谷自治振興会への補助金250万円

若者と女性の活躍応援事業補助金の申請が2団体増加する見込みのため60万円増額する。

老人保護措置費 76万円

養護老人ホーム介護職員の処遇改善にあてる。



議会活動報告 [4月～6月]

- 4月4日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)
4～5日 島根県町村議会議長会臨時総会(奥出雲町)
7日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)
12日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)
20日 議会運営委員会(議長からの諮問事項協議)
26日 雲南地域議会議員研修会(奥出雲町)
27日 全員協議会
- 5月12日 教育経済常任委員会(学校視察)
27日 雲南広域連合議会臨時会
30～31日 全国町村議会正・副議長研修会(東京)
- 6月2日 議会運営委員会(6月定例会の提出議案、日程ほかの協議)
議会広報常任委員会
7日 6月定例会: 本会議(町長提出議案の説明、質疑、委員会付託)
10日 : 本会議(一般質問)
13日 : 委員会審査
14日 : 委員会審査
15日 : 委員会審査
16日 : 委員会審査、予算特別委員会、全員協議会
17日 : 本会議(討論、採決)
22日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)
28日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)
30日 雲南市・飯南町事務組合議会全員協議会

全員協議会の議題

令和4年4月27日(水)

- ①コロナウイルス感染状況・対応
- ②次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想
- ③次期可燃ごみ広域処理施設整備民間連携可能性調査
- ④飯南町地域防災計画
- ⑤県内における豚熱対策

令和4年6月16日(木)

- ①町政座談会
- ②飯南町ブランドメッセージプロジェクト
- ③次期可燃ごみ処理施設整備広域処理への参加
- ④飯南米統一ロゴマークを活用したPR活動
- ⑤災害時における電動車両等の支援に関する協定

仕事を通した奉仕と地域愛

（俳）頼原ランドリー

多^{たく}久^{きゅう} 悟^{さと}史^しさん（佐見）

洗^{せん}匠^{たくや}屋^や誕生のいきさつ

「事業を持続するにはどうしたらいいか」という模索を続け、インターネットやスマホでの受注も検討しましたが、ネット上での宅配クリーニングは価格競争なので、大手には勝てません。

ある日、登山好きな多^{たく}久^{きゅう}さん^{さん}は、仲間から「登山で着る服のクリーニングを断られてしまふ」と聞きました。自分の登山服を洗っていた多^{たく}久^{きゅう}さん^{さん}は、習得していた技術を応用して研究を重ね、お客様が満足する洗濯と撥水技術を磨いたのです。そこでインターネットを利用し、アウトドア用品

に特化したクリーニング店（洗匠屋）が誕生したのです。

リピーターがいらない？

多^{たく}久^{きゅう}さん^{さん}の技術の高さが伺えるエピソードがあります。

1年に1回のメンテナンスを勧める洗匠屋をスタートして2年目。リピーター注文はほぼないし、クレームも来ない。心配になった多^{たく}久^{きゅう}さん^{さん}は知人に尋ねたところ「撥水性が良すぎて、申し訳ないけど2年はいける」と、お客様の意外な返事に驚き、喜びました。口コミで広がった洗匠屋の登録者は1000名を超え、



丁寧に手作業で



熱い思いを語る多^{たく}久^{きゅう}さん^{さん}

リピーターも増えているといえます。ネットクリーニング店にはないお客様との会話（やり取り）も多く、お客様から感謝の手紙をもらうこともあ

大切にしたい地域の絆

車での集配は、町内全域と周辺地域です。移動手段が限られた高齢者には特に喜ばれており、社員には「地域の人の対話を大事にし、困りごとにも対応するように」と言っています。

カギをかける家も増えましたが、それでも集配を続けるのは、地域の見守り役を担っている大切な業務だと認識しているからです。

ゆるがぬ飯南愛

洗匠屋のホームページには飯南町の紹介ページがあります。「そこまでしますか？」とかなり言われました（笑）。町の紹介ページまで作れば制作料も高くなりますからね。

「飯南町を知ってもらいたい。知ってもらわんといけんし、着地してもらわんといけん」「町のことを分かってくれる人が一人でも多くなれば交流人口も増える。人口が増えれば町が潤う。潤えば僕らのところにも循環する」。

ホームページを見て、県外から来店したお客様もいるというから驚きです。多^{たく}久^{きゅう}さん^{さん}の飯南愛が伝わった結果だと思っています。



しみぬき不入流（いらずりゅう）の技で汚れ除去中

募集

「明日を拓く」で取り上げてほしい会社や個人、団体、行事やイベントなどの情報をお寄せください。取材に伺います。議会報の表紙に使う写真の募集もあわせて行います。自薦他薦は問いません。皆様からのご応募をお待ちしています。

《応募先》飯南町議会事務局 0854-76-2190

今月の
表紙写真



「お待たせしました」と仕上がったものを手渡す。

洗匠屋の丁寧な仕事と宅配サービスは多くの町民に喜ばれています。店舗では、頼まれると髭剃りシェーバーの付け替えや、キャッシュレス決済の利用方法を教えてあげることなどもあ